

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	日本医療大学
設置者名	学校法人 日本医療大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
保健医療学部	看護学科	夜・通信	0	0	82	82	13	
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	夜・通信		10	71	81	13	
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	夜・通信			71	81	13	
	診療放射線学科	夜・通信		0	81	81	13	
	臨床検査学科	夜・通信		0	98	98	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://unipa.nihoniryo-c.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml 「シラバス」
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本医療大学
設置者名	学校法人 日本医療大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ ・ https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=140 「事業報告」 ・ 事業報告書

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 代表取締役	2020.4.1 ～ 2022.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社 代表取締役	2020.4.1 ～ 2022.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	公認会計士事務所所長	2020.4.1 ～ 2022.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	司法書士法人代表社員	2020.4.1 ～ 2022.3.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本医療大学
設置者名	学校法人 日本医療大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目、授業の方法等については、教務委員会及びカリキュラム委員会において検討し、全ての学科の授業の概要、対応するDP、到達目標、授業計画、成績評価方法、教科書・参考文献、授業時間外学修(予習・復習)の内容・分量、実務経験者を明記したシラバスを作成している。 ・シラバスは、前年度末までに作成し、学生に配布するほか、HPにも掲載している。 	
授業計画書の公表方法	<p>https://unipa.nihoniryo-c.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml 「シラバス」</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価方法は、筆記試験、提出物、技術試験、確認テスト、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション、レポート課題等をシラバスに明記して学生に周知し、厳格かつ適正に評価して単位を認定している。 ・成績評価の基準は、学修成果に基づき、成績 [AA (秀) A (優) B (良) C (可) D (不可)] により判定している 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・成績評価において、全ての学科でGPA制度を導入していることをキャンパスハンドブックで学生に周知するとともに、学生表彰（HPに登載）を行う際にも活用している。
- ・各学生の成績が、学生の所属する学科の中でどの位置にあるかを把握することができるよう、各学生の履修科目の平均成績を客観的な指標（GPA）を用いて表している。
- ・GPAは、評価基準に基づく成績を一定の数値に換算し、各学生の単位数や履修登録単位数を勘案して算出している。
- ・学生が学年ごとに適切に学修できるよう履修の上限単位（CAP制）を導入している。

(評価と計算方法)

本学のGPAは履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出する方法であり、GPに該当科目の単位数を乗じて合計し、総単位数で除して履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出します。計算結果は小数点第3位を切り捨てて表記します。

成績評価は90点以上を「AA」、80点以上を「A」、70点以上を「B」、60点以上を「C」、60点未満を「D」の5段階の評語をもって表しています。

また、GPは「AA」は4.0、「A」は3.0、「B」は2.0、「C」は1.0、「D」は0.0です。

計算式： $GPA = [GP \times \text{単位数}] \text{の総和} \div \text{総単位数}$ (小数点以下第3位を切り捨て)

【評価基準】

評点	区分	成績評価	GP
100～90点	合格	AA	4.0
89～80点		A	3.0
79～70点		B	2.0
69～60点		C	1.0
59点以下	不合格	D	0.0

客観的な指標の算出方法の公表方法

https://www.jhu.ac.jp/common/img/content/content_20200708_163317.pdf「キャンパスハンドブック2019」

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・学科ごとにDP（ディプロマ・ポリシー）を策定し、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中にDPに定めた資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える旨をシラバス（HPにも掲載）に明記している。

・卒業認定については、教務委員会において検討し、教授会に意見を求めたうえ学長が決定している。

〔ディプロマ・ポリシー〕

・看護学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、対象者に必要な看護を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、看護学を発展させる能力

・リハビリテーション学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
- 4-1. 対象者の運動機能を改善するために、科学的根拠に基づき、効果的で安全な理学療法を提供できる能力（理学療法学専攻）
- 4-2. 対象者の主体的な生活を支援するために、科学的根拠に基づき、効果的で安全な作業療法を提供できる能力（作業療法学専攻）
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、理学療法学・作業療法学を発展させる能力

・診療放射線学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、放射線の画像診断と放射線治療を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、診療放射線学を発展させる能力

・臨床検査学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に貢献する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、良質な臨床検査を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、臨床検査学を発展させる能力
6. 臨床検査室の品質マネジメントシステムの構築及び実践できる能力

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://unipa.nihoniryoc.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml> 「シラバス」

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	日本医療大学
設置者名	学校法人 日本医療大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jhu.ac.jp/common/img/content/content_20210702_151941.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.jhu.ac.jp/common/img/content/content_20210702_163245.pdf https://www.jhu.ac.jp/common/img/content/content_20210702_151912.pdf
財産目録	https://www.jhu.ac.jp/common/img/content/content_20210702_151952.pdf
事業報告書	https://www.jhu.ac.jp/common/img/content/content_20210702_155257.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.jhu.ac.jp/common/img/content/content_20210702_152012.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 公表方法: ホームページによる https://www.jhu.ac.jp/uploads/06c9de53edf665feadb2944fd1d3052c.pdf 「自己点検評価書」
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 2020年度受審、評価基準に適合と認定 https://www.jhu.ac.jp/uploads/19cee6daf6b6142568bcd4b5a59bc561.pdf 「令和元年度 大学機関別認証評価 評価報告書」
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健医療学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページによる） https://www.jhu.ac.jp/common/img/content/content_20200708_162711.pdf 「学則」 https://unipa.nihoniryo-c.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml 「シラバス」
(概要) 【学則】 〔目的〕 ・ 本学は、教育基本法及び学校教育法並びに建学の精神に基づき、深く専門の学術を教授及び研究し、人間尊重を基盤とした医療人を育成して、社会の発展に寄与するとともに人々の健康及び生活の向上に貢献することを目的とする。 〔保健医療学部及び学科の教育上の目的〕 ・ 生命の尊厳の理念に基づき、豊かな感性と教養で人間性を高め、高度な知識と技術を学修し、倫理的及び論理的な実践力で、地域医療に貢献する医療人を育成する。 【シラバス】 〔教育目的〕 ・ 建学の精神、教育理念に基づき、以下の教育目的を掲げている。 (1)看護学科 幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と援助的人間関係の形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識および技術と専門職業人としての態度を教授する。看護専門職として、将来にわたり、永続的に自己成長、自己研鑽を続けていくための資質や能力を養うことができるような教育を展開し、看護学学士課程としての学修成果を得た看護師を育成することを目指している。 (2)リハビリテーション学科 幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と援助的人間関係の形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識および技術と専門職業人としての態度を教授する。 (3)診療放射線学科 放射線医療の高度化や多様化に対応するため、基礎的な知識と技能の習得に加えて、医療現場に携わる職業人として求められる幅広い視野と豊かな人間性、高い倫理観、的確な対人関係の形成や他者との協調と協働力を身につけた職業人を育成する。また、継続的な自己研鑽力や自主的に学び、考え、行動する研究能力を身につけた職業人を育成することを目的としている。 (4)臨床検査学科 幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と援助的人間関係の形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識および技術と専門職業人としての態度を教授する。

卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページによる）

<https://unipa.nihoniryo-c.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml>「シラバス」

（概要）

【看護学科】

・本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位（124単位以上）を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

〔ディプロマ・ポリシー〕

看護学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、対象者に必要な看護を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、看護学を発展させる能力

【リハビリテーション学科】

・本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位（124単位以上）を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

〔ディプロマ・ポリシー〕

リハビリテーション学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
- 4-1. 対象者の運動機能を改善するために、科学的根拠に基づき、効果的で安全な理学療法を提供できる能力（理学療法学専攻）
- 4-2. 対象者の主体的な生活を支援するために、科学的根拠に基づき、効果的で安全な作業療法を提供できる能力（作業療法学専攻）
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、理学療法学・作業療法学を発展させる能力

【診療放射線学科】

・本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位（126単位以上）を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

〔ディプロマ・ポリシー〕

診療放射線学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、放射線の画像診断と放射線治療を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、診療放射線学を発展させる能力

【臨床検査学科】

臨床検査学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

〔ディプロマ・ポリシー〕

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に貢献する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、良質な臨床検査を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、臨床検査学を発展させる能力
6. 臨床検査室の品質マネジメントシステムの構築および実践できる能力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページによる）

<https://unipa.nihoniryo-c.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml>「シラバス」

（概要）

【看護学科】

・教育課程の編成は、看護の対象である「人間」を理解するために必要な知識、学生の人間的成長に必要な知識を学ぶ「基礎教育科目」、看護学に不可欠な保健医療福祉の基礎知識を学ぶ「専門基礎教育科目」、看護学の知識・技術を学ぶ「専門教育科目」の三領域で編成している。

カリキュラムの各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」「専門教育科目」の三領域に配置した各教科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定している。

なお、教育課程編成には、基礎教育科目→専門基礎教育科目→専門教育科目において、講義内容が順次理解できるように、内容の順序性と連続性、関連性を重視し、教育科目の開講年次および前期、後期への配分についても、これらのことを十分に考慮して配置している。

〔カリキュラム・ポリシー〕

看護学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、演習、ゼミナール等の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる能力を育成するために、「社会と健康支援」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「健康と疾病」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
4. 高度で専門的な看護の実践能力の育成のため、看護の基本、対象の特徴と看護実践、看護の統合学習について学ぶ専門教育科目を配置する
5. 将来の看護職業人としての自覚を持ち、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働して働くための豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【リハビリテーション学科】

・教育課程の編成は、教育目的を達成するための人材育成に必要な内容を授業科目として設定し、「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域で編成している。また、理学療法士・作業療法士の養成施設としての指定規則条件を充足しつつ、選択科目を多く開講し、リハビリテーション学科で掲げた人材育成に必要な科目を配置している。

教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教科目の内容が、有機的に関

連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定している。

なお、教育課程編成には、基礎教育科目→専門基礎教育科目→専門教育科目において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関連性を重視しています。教育科目の開講年次および前期、後期への配分については、これらのことを十分に考慮して配置している。

〔カリキュラム・ポリシー〕

リハビリテーション学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、演習、ゼミナール等の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働できる能力を育成するために、「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」について学ぶ専門基礎科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた理学療法・作業療法の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の構造と機能および心身の発達」、「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」について学ぶ専門基礎科目を配置する
- 4-1. 対象者の運動機能の改善を目的とした、高度で専門的な理学療法の実践能力育成のため、理学療法評価法および治療法について学ぶ専門教育科目を配置する（理学療法学専攻）
- 4-2. 対象者の主体的な生活を支援することを目的とした、高度で専門的な作業療法の実践能力育成のため、作業療法評価法および治療法について学ぶ専門教育科目を配置する（作業療法学専攻）
5. 豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【診療放射線学科】

教育課程の編成は、教育目的を達成するための人材育成に必要な内容を授業科目として設定し、「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域で編成している。また、診療放射線技師の養成施設としての指定規則条件を充足しつつ、診療放射線学科で掲げた人材育成に必要な選択科目を配置している。

教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教育科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定している。

なお、教育課程編成には、基礎教育科目→専門基礎教育科目→専門教育科目において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関連性を重視している。教育科目の開講年次および前期、後期への配分については、これらのことを十分に考慮して配置している。

〔カリキュラム・ポリシー〕

診療放射線学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、実験・実習、演習の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働できる能力を育成するために、「保健医療福祉と診療放射線」について学ぶ専門基礎科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた診療放射線の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「保健医療における理工学的基礎並びに放射線の科学と技術」について学ぶ専門基礎科目を配置する

4. 高度で専門的な診療放射線の実践能力を育成するため、診療放射線検査法、放射線治療法、放射線安全管理法について学ぶ専門教育科目を配置する
5. 豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【臨床検査学科】

教育課程の編成は、人材育成に必要な内容を授業科目として設定し、「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門科目」の三領域で編成している。また、臨床検査技師の養成施設としての指定規則条件を充足しつつ、臨床検査学科で掲げた人材育成に必要な科目を配置している。

〔カリキュラム・ポリシー〕

臨床検査学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、実習、演習の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に貢献する資質を育成するため、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働できる能力を育成するため、「保健医療福祉と医療検査」について学ぶ専門基礎科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた臨床検査の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の構造と機能」、「医学検査の基礎とその疾病との関連」、「医療工学及び情報科学」について学ぶ専門基礎科目を配置する
4. 高度で専門的な臨床検査の実践能力、発展させる能力を育成するため、臨床病態学と臨床検査、各臨床検査法、卒業研究を学ぶ専門教育科目を配置する
5. 臨床検査室の品質マネジメントシステムの構築および実践できる能力を育成するため「検査総合管理学」、「医療安全管理学」を配置する

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる）

<https://unipa.nihoniryo-c.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml> 「シラバス」

（概要）

【看護学科】

〔アドミッション・ポリシー〕

看護学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める。

1. 看護学を学ぶために必要な基礎学力を持ち、看護学の学修に意欲と熱意を持つ人
2. 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
3. 人の健康に関心を持ち、地域の保健医療福祉、社会に貢献する意志のある人
4. 人に関心を持ち、あたたかい心で人とコミュニケーションができる人
5. 知的好奇心を持ち、探究心と想像力で自ら学ぶ意欲を持つ人
6. 基本的な生活態度が身につけており、心身の健康に気を配れる人

【リハビリテーション学科】

〔アドミッション・ポリシー〕

リハビリテーション学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲のある人材を求める。

1. 理学療法士・作業療法士を志している人
2. 理学療法・作業療法を学ぶために必要な基礎学力のある人
3. 基礎的コミュニケーション能力を有している人

4. 他者を思いやる心がある人
5. 何事にも根気強く臨み、責任を持って最後までやりとげる人
6. 基本的な生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人
- 7-1. 人の運動や動作のメカニズムに関心を持っている人（理学療法学専攻）
- 7-2. 人の生活を専門的な視点から支援し、社会に貢献したいと思っている人（作業療法学専攻）

【診療放射線学科】

[アドミッション・ポリシー]

診療放射線学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める。

1. 診療放射線技師を志している人
2. 診療放射線学を学ぶために必要な基礎学力のある人
3. 基礎的コミュニケーション能力を有している人
4. 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
5. 知的好奇心を持ち、探究心と想像力で自ら学ぶ意欲を持つ人
6. 基本的な生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人

【臨床検査学科】

臨床検査学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める。

1. 臨床検査技師を志し臨床検査学の学修に意欲的に取り組むことができる人
2. 臨床検査学を学ぶために必要な基礎学力のある人
3. 基礎的なコミュニケーション能力を有している人
4. 他者の意見や考え方に触れ、自らの意見を整理し表現するための思考力・判断力・表現力を有している人
5. 基本的な生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページによる

<https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=121>「教育上の基本組織・構成図に関する事項」

https://www.jhu.ac.jp/common/img/content/content_20200708_162851.pdf「大学機構組織図」

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
看護学科	—	17人	5人	11人	7人	4人	44人
リハビリテーション学科 理学療法学専攻	—	4人	4人	2人	3人	0人	13人
リハビリテーション学科 作業療法学専攻	—	3人	2人	2人	1人	0人	8人
診療放射線学科	—	5人	3人	3人	1人	1人	13人
臨床検査学科	—	4人	0人	1人	1人	0人	6人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		84人					85人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページによる https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=144 https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=147 https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=148 https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=146 https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=241					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健医療学部	430人	488人	113.5%	1180人	1251人	106.0%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	430人	488人	113.5%	1180人	1251人	106.0%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健医療学部	190人 (100%)	2人 (1.1%)	160人 (84.2%)	28人 (14.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	190人	2人	160人	28人

	(100%)	(1.1%)	(84.2%)	(14.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業科目、授業の方法等については、教務委員会及びカリキュラム委員会において検討し、全ての学科の授業の概要、対応するDP、到達目標、授業計画、成績評価方法、教科書・参考文献、授業時間外学修（予習・復習）の内容・分量、実務経験者を明記したシラバスを作成している。 シラバスは、前年度末までに作成し、学生に配布するほか、HPにも掲載している。 <p>授業科目、授業方法及び内容並びに年間の授業計画に関してはシラバスに明記し、ホームページに掲載</p> <p>https://unipa.nihoniryo-c.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml 「シラバス」</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学修の成果にかかる評価は、成績評価において全ての学科でGPA制度を導入していることをキャンパスハンドブックで学生に周知するとともに、学生表彰(HPに掲載)を行う際にも活用している。 「GPA等の客観的な指標の設定」については、各学生の成績が学生の所属する学科の中でどの位置にあるかを把握することができるよう、各学生の履修科目の平均成績を客観的な指標(GPA)を用いて表している。 GPAは、評価基準に基づく成績を一定の数値に換算し、各学生の単位数や履修登録単位数を勘案して算出している。 学生が学年ごとに適切に学修できるよう履修の上限単位(CAP制)を導入している。 卒業の認定に当たっては、学科ごとにDP(ディプロマ・ポリシー)を策定し、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中にDPに定めた資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える旨をシラバス(HPにも掲載)に明記している。 卒業認定については、教務委員会において検討し、教授会に意見を求めたうえ、学長が決定している。 <p>成績評価方法やGPA制度の導入については、シラバス、キャンパスハンドブック、HPに掲載</p> <p>卒業認定については、DPを策定し、シラバス、ホームページに掲載</p> <p>https://unipa.nihoniryo-c.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml 「シラバス」</p>

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健医療学部	看護学科	124 単位	④・無	1・2 年 39 単位 3 年 33 単位 4 年 19 単位
	リハビリテーション学 科	124 単位	④・無	1 年 47 単位 2 年 41 単位 3 年 38 単位 4 年 21 単位
	診療放射線学科	126 単位	④・無	1 年 34 単位 2 年 40 単位 3 年 42 単位 4 年 28 単位
	臨床検査学科	124 単位	④・無	1～4 年 45 単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページによる	
キャンパスマップ	https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=32
施設設備	https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=33
関連グループ	https://www.jhu.ac.jp/about/page.php?id=139
チーム医療	https://www.jhu.ac.jp/team_medical/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
保健医療 学部	看護学科	1,500,000 円	300,000 円	100,000 円	その他 施設設備整備費(2021 年度から)
	リハビリテ ーション学 科	初年次 1,300,000 円 2～4 年次 1,500,000 円	300,000 円	100,000 円	その他 施設設備整備費(2021 年度から)
	診療放射 線学科	初年次 1,400,000 円 2～4 年次 1,500,000 円	300,000 円	100,000 円	その他 施設設備整備費(2021 年度から)
	臨床検査 学科	1,500,000 円	300,000 円	100,000 円	その他 施設設備整備費(2021 年度から)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 〔学生担任制〕 ・本学は、学生担任制をとっており、学生担任は、修学、進路、健康、ハラスメントや経済的なことなど、学生生活全般に対して、最も身近な相談相手・助言者として、質問や相談に応じている。 〔オフィスアワー制度〕 ・学生と教員が自由に交流できるよう、教員が定時に待機するオフィスアワーを設けている。学修についてはもちろん、学生生活全般にわたって教員に相談できる時間として有効に活用できる。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) ・キャリア学修支援センターにおいて、進路選択相談(キャリアプラン講座)、就職活動支援(履歴書の書き方や面接指導)、国家試験対策(資格取得に向けたサポート)等の取組みを実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) ・学生相談室に臨床心理士を配置(週2回)し、学生がより充実した学生生活を送れるようサポートしている。 ・また、保健室にも養護教員を配置し、学生の健康管理をサポートしている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページによる https://www.jhu.ac.jp/disclosure/ 「情報公開」、「大学の教育研究上の目的に関する事項」
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F101310100365
学校名	日本医療大学
設置者名	学校法人 日本医療大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		136人	125人	139人
内 訳	第Ⅰ区分	76人	68人	
	第Ⅱ区分	33人	37人	
	第Ⅲ区分	27人	20人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				139人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。